

平成29年度 「土質・地質技術者生涯学習協議会」議事録

日時：平成30年3月8日（木） 15:00～17:00

場所：（社）全国地質調査業協会連合会 会議室

出席者：

- （一社）日本応用地質学会（小俣会長）
- 日本情報地質学会（坂本委員）
- （一社）日本地質学会（天野委員）
- （公社）日本地下水学会（古川委員）
- （一社）物理探査学会（荘司委員）
- （国研）産業技術総合研究所（川邊委員）
- （一社）全国さく井協会（岡崎委員）
- 日本水文科学会（樋口委員）
- 山口大学理学部地球圏システム科学科（太田委員）
- （社）全国地質調査業協会連合会（池田、須見、高橋）

欠席者：（協）関西地盤環境研究センター、NPO日本地質汚染審査機構

議事：

1. ジオ・スクーリングネットの運用状況について

- 現在の会員数、プログラムの登録状況などについて、事務局より報告があった。
- ・昨年8月のサイト全面リニューアル以降、システム運用やセキュリティの大きなトラブルは無かった。
- ・利用登録者数は増え続けており、昨年同時期比で348名増えた。
- ・委員より要望のあったサイトの改善見直しについて、事務局で検討することになった。
（会員の所属学会リストの追加、CPD分類表の配置見直し、研修検索時のID表示）

2. 建設系CPD協議会の活動状況について

- 本協議会に委員として参加された小俣会長より報告があった。また、議題3.の説明も同時に進行の上、学協会や協議会として本来あるべき技術者教育の環境整備について協議を行った。
- ・建設系CPD協議会の参加団体間における相互承認の課題について
 - 土質・地質技術者生涯学習協議会では、地質技術者と関係の深い一部の団体とは相互承認することで調整した。
- ・講習会開催情報の共有と周知について
 - 土質・地質技術者生涯学習協議会の参加団体間において、各団体が主催する講習会の開催情報を交換共有するにあたり、そのための技術的な課題を事務局で検討することになった。
- ・e-Learning、WEB学習教材の作成とそのPR・発信方法について
 - 全地連のWEB学習サイトは、資格更新や有償サイトなど様々な利用を想定し作成している。土質・地質技術者生涯学習協議会の参加団体が作成した教材類は、全地連の

サイトに掲載することが可能であり、ここを地質技術者学習のポータルサイトのようにする方法もある。また、このサイトをジオ・スクーリングネットとリンクすることで、地質技術者の教育環境の向上も期待できる。

→ e-LearningやWEB学習の取り組みは、世界的な流れであり、近い将来に日本も環境が大きく変化する可能性がある。それを念頭に、各団体は準備に向けて検討を始めるのが良い。

3. 各機関のCPDに対する活動について

→ 事務局より、全地連で取り組むWEB学習サイトの構築や資格更新の際のCPD活用について紹介・説明があった。

・（本議題に関する協議は、議題2と同時並行して行った）

4. 平成30年度の会費について

→ 事務局より、次年度の会費を80,000円／念（今年度60,000円）とする旨の説明があり、了承された。請求の時期は、平成30年6月とする。

5. その他

→ システムの改良など要望があれば、事務局まで連絡いただきたい。

以上